



2018年12月期 第3四半期 決算概要

株式会社MonotaRO
www.monotaro.com

事業概要と特長・差別化戦略

■ 主な事業内容

- インターネット等を利用した、事業者向け工場・工事用、自動車整備用等の間接資材の通信販売
(商品点数:1,700万点・うち当日出荷対象商品50.5万点、在庫点数38.8万点)

■ 販売商品の特長

- 種類は多岐にわたり、顧客にとっては価格よりも利便性が重要

■ 従業員数(連結・2018年9月末)

	正社員		アルバイト・派遣		計	
本社等(内、MonotaRO)	393	(274)	303	(254)	696	(528)
物流センター(同)	66	(46)	1,253	(1,213)	1,319	(1,259)
計(同)	459	(320)	1,556	(1,467)	2,015	(1,787)

■ 主な競合

- 訪問工具商・金物屋・自動車部品商、インターネット通販サイト等

■ 主な顧客層

- 製造業、建設・工事業、自動車整備業等(中小企業が中心顧客)

■ 市場規模

- 5~10兆円

■ 経営戦略

- インターネットを活用して規模の経済を実現し幅広い商材と高い検索性で差別化する。
- 累積する受注・顧客データベースを整備分析したマーケティングで顧客を囲い込む。
- 自社ソフト開発からコンテンツ制作までを行うことで高い生産性を実現する。

2018年12月期 第3四半期 【単体】決算概要

【単体】2018年度 第3四半期 決算の概略

■ 売上 75,987百万円(前年同期比 +23.8%、計画比 +0.9%)

- ・リスティング広告強化、検索エンジン最適化(SEO)、新バージョンTVCM放映、取扱点数拡大(今年度400万点超を拡大し現在1,700万点超)等の取組みが奏功し、獲得口座数増(454千口座増)。昨年3月スタートした利用頻度向上施策の効果拡大継続、経済環境好調等により既存顧客売上も増。事業者向けネット通販事業(monotaro.com)売上は対前年・対計画とも増。
- ・連携社数増・利用増に伴い購買管理システム事業(大企業連携)売上も対前年・計画とも増。

2017年度Q3累計実績				2018年度Q3累計計画				2018年度Q3累計実績				
連携社数	金額	前年同期比	売上合計比	金額	前年同期比	売上合計比	連携社数	金額	前年同期比	計画比	売上合計比	
410社	62.3億円	+57%	10.2%	91.5億円	+46%	12.2%	581社	95.0億円	+52%	+3%	12.5%	

■ 売上総利益 22,684百万円(前年同期比 +18.6%、計画比 Δ 0.2%)

- ・GP率前年同期比 Δ 1.2ポイント。NB/国内商品売上比率増、当社・ロイヤリティ対象事業売上・利益成長率差拡大等により商品利益率減(Δ 0.6ポイント)。配送料値上げ等により配送料率増(Δ 0.6ポイント)。
- ・GP率計画比 Δ 0.3ポイント。利用頻度向上施策効果増、配送料値上げ、大型商品注文増に伴う注文当り箱数増等により配送料率増(Δ 0.2ポイント)。ロイヤリティ額減等により商品利益率減(Δ 0.1ポイント)。

■ 販売管理費 12,183百万円(前年同期比 +18.3%、計画比 Δ 1.3%)

- ・販管费率前年同期比 Δ 0.8ポイント。前年の笠間DC稼働開始費用の今期減、売上増等により販管费率は前年同期比減。
- ・販管费率計画比 Δ 0.4ポイント。尼崎DC稼働増(天候/猛暑要因や大型商品注文増等に伴う生産性低下)等により業務委託费率が増となるも、他费率は減(大型台風によるカタログ発送遅延に伴う一部通信費Q4計上を含む)となり販管费率計画比減。

■ 営業利益 10,500百万円(前年同期比 +19.1%、計画比 +1.1%)

■ 当期純利益 7,213百万円(前年同期比 +15.4%、計画比 Δ 0.0%)

- ・昨年度の税制優遇(笠間DC投資が生産性向上設備投資促進税制の対象)が廃止され、法人税等税率増となり、当期純利益率は前年同期比 Δ 0.7ポイント。
- ・営業利益率は計画通りとなるも、Q3累計では税率の上・下期バランス見積差異による税率増の影響が残るため当期純利益率は計画比 Δ 0.1ポイント。税率バランスの見積差異は通期で解消される見込み。

【単体】2018年度 第3四半期 損益計算書サマリー

	2017年度Q3累計 実績		2018年度Q3累計 計画		2018年度Q3累計 実績			
	金額 (百万円)	売上比	金額 (百万円)	売上比	金額 (百万円)	売上比	前年 同期比	計画比
売上高	61,388		75,338		75,987		+23.8%	+0.9%
売上総利益	19,121	31.1%	22,734	30.2%	22,684	29.9%	+18.6%	△0.2%
販売管理費	10,301	16.8%	12,346	16.4%	12,183	16.0%	+18.3%	△1.3%
営業利益	8,819	14.4%	10,388	13.8%	10,500	13.8%	+19.1%	+1.1%
経常利益	8,871	14.5%	10,325	13.7%	10,475	13.8%	+18.1%	+1.4%
当期純利益 (法人税等税率)	6,248 (29.5%)	10.2%	7,213 (30.1%)	9.6%	7,213 (31.0%)	9.5%	+15.4%	△0.0%

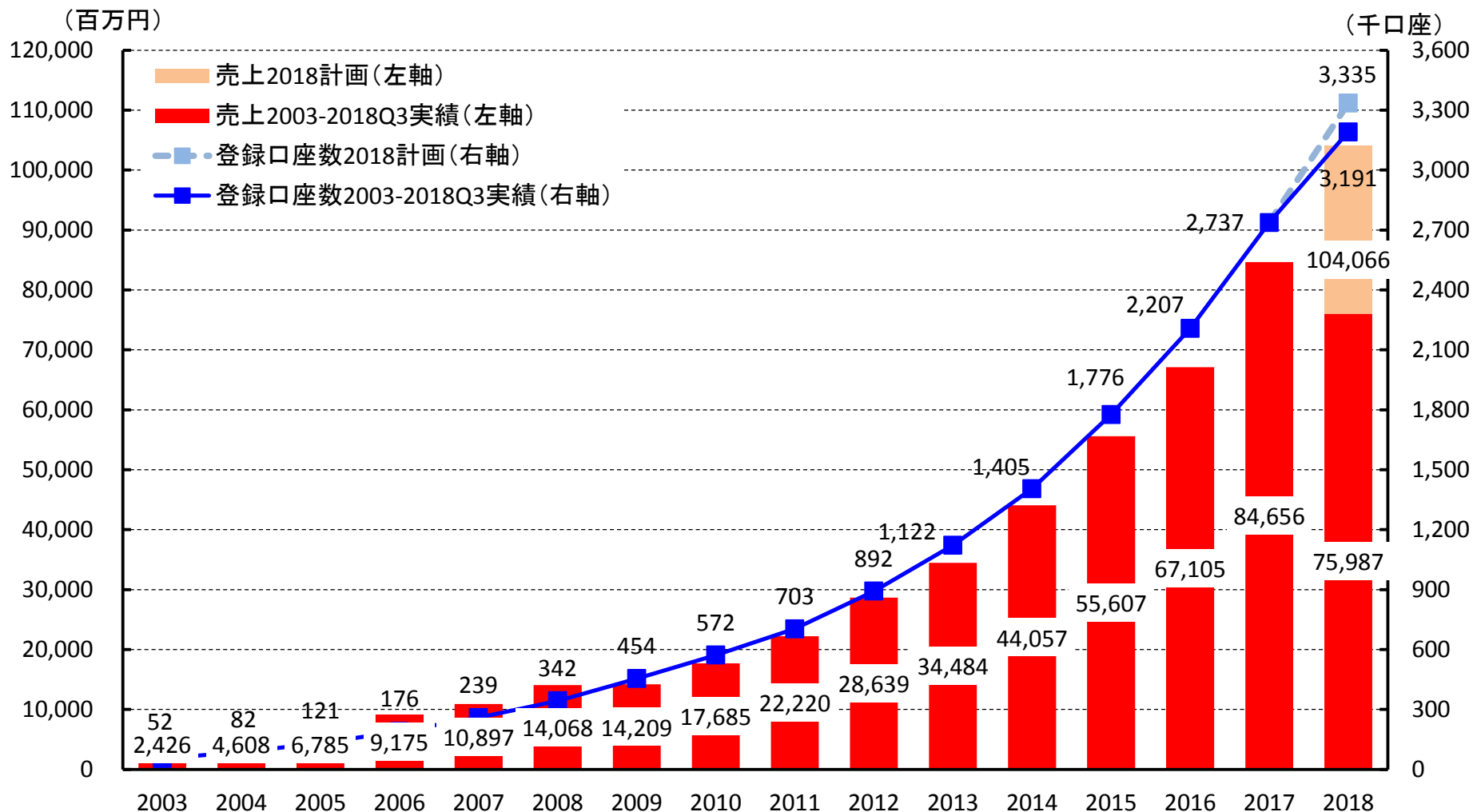
【単体】2018年度 第3四半期 貸借対照表サマリー

		2017年 9月	2017年 12月	2018年 9月	
		金額(百万円)	金額(百万円)	金額(百万円)	構成比
資産の部					
流動資産	現預金	4,703	8,097	7,715	16.7%
	売掛金	9,576	9,977	10,969	23.8%
	棚卸資産	7,738	7,689	9,249	20.1%
	その他	3,664	3,861	3,962	8.6%
流動資産合計		25,683	29,626	31,896	69.2%
固定資産	有形固定資産	10,036	9,852	9,567	20.8%
	無形固定資産	1,212	1,218	1,295	2.8%
	投資その他資産	2,832	2,827	3,347	7.3%
固定資産合計		14,082	13,898	14,210	30.8%
資産合計		39,765	43,525	46,107	

		2017年 9月	2017年 12月	2018年 9月	
		金額(百万円)	金額(百万円)	金額(百万円)	構成比
負債の部					
流動負債	買掛金	5,997	6,510	6,905	15.0%
	短期借入金等	2,150	2,125	2,031	4.4%
	その他	4,309	5,150	5,980	13.0%
流動負債合計		12,457	13,786	14,917	32.4%
固定負債合計		5,446	5,418	2,639	5.7%
負債合計		17,904	19,205	17,557	38.1%
純資産の部					
株主資本合計		21,808	24,281	28,510	61.8%
新株予約権		52	38	40	0.1%
純資産合計		21,861	24,320	28,550	61.9%
負債・純資産合計		39,765	43,525	46,107	

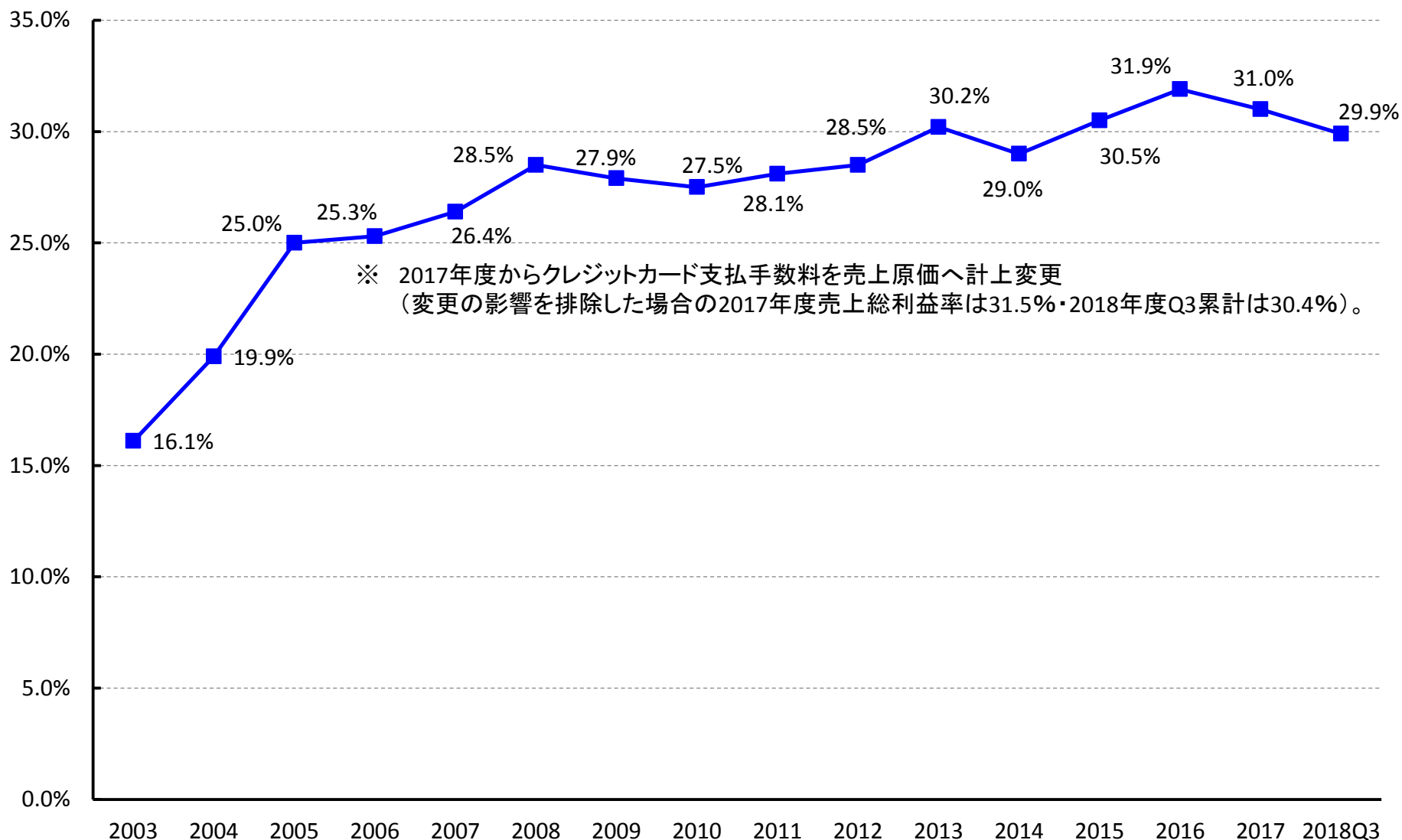
※短期借入金等・・・短期借入金および一年内返済長期借入金

【単体】売上・登録口座数推移

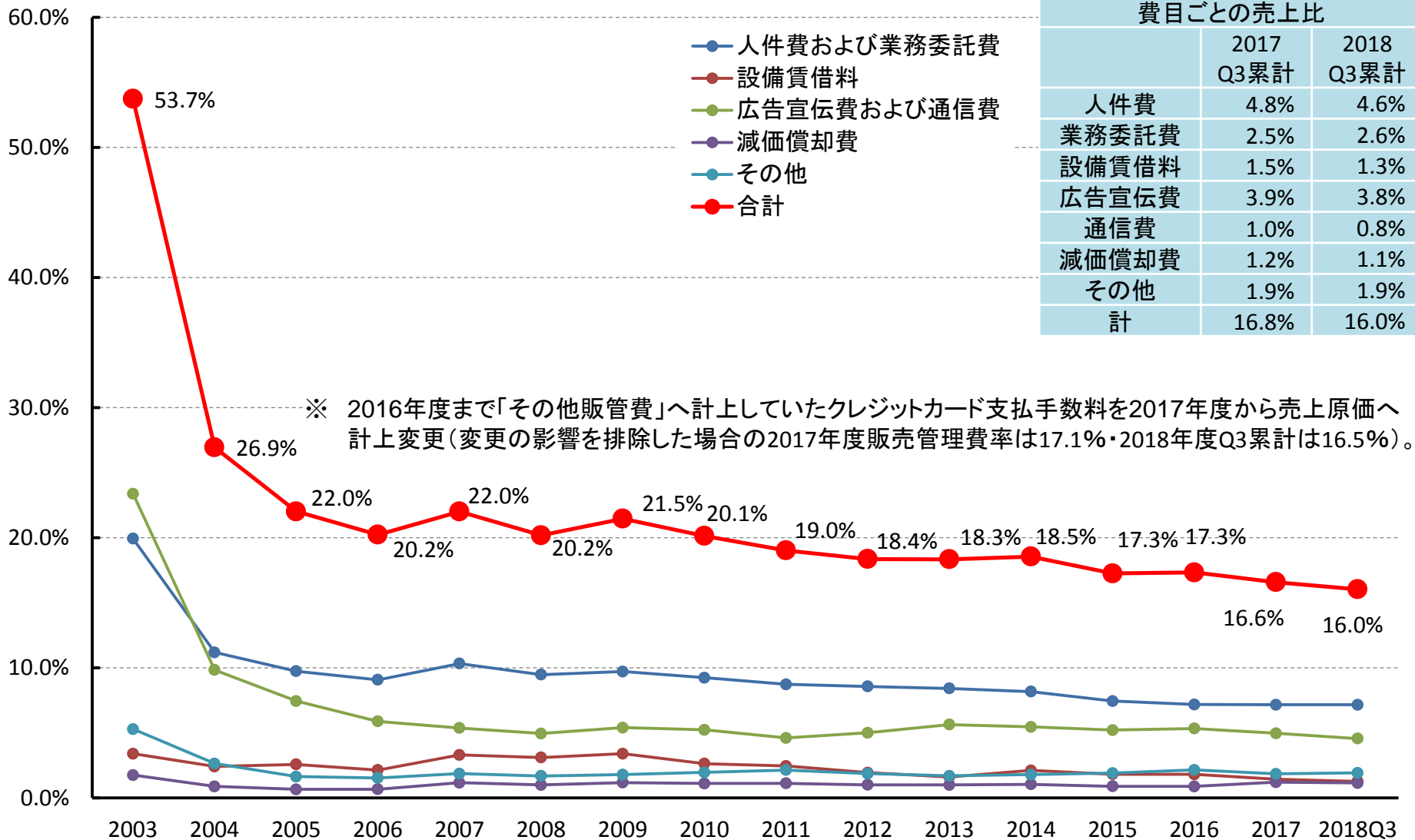


	2017年12月末	2018年9月末		2018年12月末(計画)	
登録口座数	2,737,820	3,191,839	+454,019 (対2017年12月末)	3,335,820	+598,000 (対2017年12月末)

【単体】売上総利益率推移



【単体】販売管理費率推移



2018年12月期 第3四半期 【連結】決算概要

【連結】2018年度 第3四半期 損益計算書サマリー 1/2

	2017年度Q3累計 実績		2018年度Q3累計 計画		2018年度Q3累計 実績			
	金額 (百万円)	売上比	金額 (百万円)	売上比	金額 (百万円)	売上比	前年 同期比	計画比
売上高	64,057		79,055		78,985		+23.3%	△0.1%
売上総利益	19,637	30.7%	23,556	29.8%	23,312	29.5%	+18.7%	△1.0%
販売管理費	11,078	17.3%	13,507	17.1%	13,156	16.7%	+18.8%	△2.6%
営業利益	8,559	13.4%	10,048	12.7%	10,155	12.9%	+18.6%	+1.1%
経常利益	8,620	13.5%	10,002	12.7%	10,148	12.8%	+17.7%	+1.5%
当期純利益 (法人税等税率)	5,996 (30.4%)	9.4%	6,890 (31.1%)	8.7%	6,888 (32.0%)	8.7%	+14.9%	△0.0%
親会社株主に帰属 する当期純利益	6,053	9.4%	6,990	8.8%	6,986	8.8%	+15.4%	△0.1%

【連結】2018年度 第3四半期 損益計算書サマリー 2/2

■ NAVIMRO(韓国)

- ・ 売上は対前年同期比増を確保するも経済状況悪化等により対計画減。
- ・ 営業損失は対前年同期減となるも対計画増。

	2017年度Q3累計実績			2018年度Q3累計計画			2018年度Q3累計実績				
	金額 (億円)	前年 同期比	現地通貨 前年同期比	金額 (億円)	前年 同期比	現地通貨 前年同期比	金額 (億円)	前年 同期比	計画比	現地通貨 前年同期比	現地通貨 計画比
売上	25.4	+46.0%	+38.6%	34.2	+34.6%	+27.1%	28.2	+11.1%	△17.4%	+8.8%	△14.4%
営業利益	△1.2	—	—	△0.4	—	—	△0.6	—	—	—	—

■ MONOTARO INDONESIA(インドネシア)

- ・ 売上は対前年同期比50%超増(現地通貨ベース)を維持するも、顧客獲得が計画を下回り対計画減。
- ・ 営業損失は計画内。

	2017年度Q3累計実績			2018年度Q3累計計画			2018年度Q3累計実績				
	金額 (億円)	前年 同期比	現地通貨 前年同期比	金額 (億円)	前年 同期比	現地通貨 前年同期比	金額 (億円)	前年 同期比	計画比	現地通貨 前年同期比	現地通貨 計画比
売上	1.3	—	—	2.7	+103.4%	+102.8%	1.9	+40.5%	△30.9%	+50.9%	△25.6%
営業利益	△1.3	—	—	△1.9	—	—	△1.6	—	—	—	—

■ ZORO SHANGHAI(中国)

- ・ 2018年2月会社設立。6月下旬事業開始。
- ・ 獲得顧客が計画を下回り売上は対計画減。

	2017年度Q3累計実績			2018年度Q3累計計画			2018年度Q3累計実績				
	金額 (億円)	前年 同期比	現地通貨 前年同期比	金額 (億円)	前年 同期比	現地通貨 前年同期比	金額 (億円)	前年 同期比	計画比	現地通貨 前年同期比	現地通貨 計画比
売上	—	—	—	0.1	—	—	※注 0.0	—	△91.2%	—	△91.0%
営業利益	—	—	—	△0.9	—	—	△1.0	—	—	—	—

※注：2018年度Q3累計売上実績はあるが、上表では1千万円未満であるため「0.0億円」。

【連結】2018年度 第3四半期 貸借対照表サマリー

		2017年 9月	2017年 12月	2018年 9月	
		金額(百万円)	金額(百万円)	金額(百万円)	構成比
資産の部					
流動資産	現預金	5,315	8,688	8,559	18.9%
	売掛金	9,609	10,039	11,028	24.3%
	棚卸資産	8,075	8,081	9,704	21.4%
	その他	3,754	3,926	4,021	8.9%
流動資産合計		26,755	30,736	33,313	73.5%
固定資産	有形固定資産	10,059	9,881	9,591	21.2%
	無形固定資産	1,346	1,347	1,448	3.2%
	投資その他資産	895	896	951	2.1%
固定資産合計		12,301	12,125	11,991	26.5%
資産合計		39,056	42,861	45,305	

		2017年 9月	2017年 12月	2018年 9月	
		金額(百万円)	金額(百万円)	金額(百万円)	構成比
負債の部					
流動負債	買掛金	6,244	6,829	7,151	15.8%
	短期借入金等	2,150	2,125	2,031	4.5%
	その他	4,404	5,249	6,080	13.4%
流動負債合計		12,799	14,203	15,263	33.7%
固定負債合計		5,472	5,441	2,683	5.9%
負債合計		18,272	19,644	17,946	39.6%
純資産の部					
株主資本合計		20,571	23,004	27,007	59.6%
その他		213	212	350	0.8%
純資産合計		20,784	23,216	27,358	60.4%
負債・純資産合計		39,056	42,861	45,305	

※短期借入金等・・・短期借入金および一年内返済長期借入金

【連結】2018年度 第3四半期 キャッシュフローサマリー

	2017年度Q3累計	2018年度Q3累計
	金額 (百万円)	金額 (百万円)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前当期純利益	8,617	10,127
売上債権の増減額	△2,041	△993
棚卸資産の増減額	△2,076	△1,638
仕入債務の増減額 ((△)減少)	937	338
法人税等の支払額	△3,373	△3,630
その他	468	2,015
計	2,531	6,218
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産取得による支出	△3,206	△156
無形固定資産取得による支出	△438	△455
その他	521	△68
計	△3,123	△680
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△168	△2,094
配当金の支払額	△2,470	△2,970
セール・アンド・リースバックによる収入	2,440	—
リース債務の返済による支出	△1,117	△841
その他	—	276
計	△1,317	△5,629
現金および現金同等物に係る換算差額	△3	△37
現金および現金同等物の増減額	△1,913	△129
現金および現金同等物の期首残高	7,229	8,688
現金および現金同等物の期末残高	5,315	8,559

**2018年12月期
事業計画・戦略
【Q3 進捗】**

【単体】2018年度 事業計画

	2017年度 実績		2018年度 計画		
	金額 (百万円)	売上比	金額 (百万円)	売上比	前年度比
売上高	84,656		104,066		+22.9%
売上総利益	26,204	31.0%	31,405	30.2%	+19.8%
販売管理費	14,035	16.6%	16,736	16.1%	+19.2%
営業利益	12,168	14.4%	14,668	14.1%	+20.5%
経常利益	12,177	14.4%	14,590	14.0%	+19.8%
当期純利益 (法人税等税率)	8,699 (28.5%)	10.3%	10,292 (29.4%)	9.9%	+18.3%

【連結】2018年度 事業計画

	2017年度 実績		2018年度 計画		
	金額 (百万円)	売上比	金額 (百万円)	売上比	前年度比
売上高	88,347		109,469		+23.9%
売上総利益	26,929	30.5%	32,604	29.8%	+21.1%
販売管理費	15,091	17.1%	18,355	16.8%	+21.6%
営業利益	11,837	13.4%	14,249	13.0%	+20.4%
経常利益	11,858	13.4%	14,191	13.0%	+19.7%
当期純利益 (法人税等税率)	8,378 (29.3%)	9.5%	9,894 (30.2%)	9.0%	+18.1%
親会社株主に帰属 する当期純利益	8,464	9.6%	10,044	9.2%	+18.7%

2018年度 事業戦略 Q3進捗 1/2

■ 事業者向けネット通販事業(monotaro.com)

- 顧客ベースの拡大
 - 2018Q3累計の新規口座獲得は対計画増。リスティング広告強化、検索エンジン最適化(SEO)、取扱点数(9月末:1,700万点超)拡大等に引続き取組み、新規口座獲得計画(59.8万)を達成して顧客ベース拡大を図る。
- 既存顧客向け売上拡大
 - 在庫点数拡大(9月末実績38.8万点、計画の40.0万点は到達見込み)、配送ネットワーク向上等による更なるリードタイム短縮を通じて利便性向上に取組み、顧客当りの売上増を図る。

■ 購買管理システム事業(大企業連携)

- 総連携社数: 2018年度Q3末連携済 581社(前年度末比+152社)
- モノタロウ One Source: 2018年度Q3末連携済 12社(前年度末比+0社)。2社で検討中。
- モノタロウ One Source Lite: 2018年度Q3末連携済 139社(前年度末比+76社)。62社で検討中。

■ 海外展開

- ロイヤリティ事業
 - 対象事業(Grainger社 欧・米Zoroビジネス)は売上成長を維持しつつ事業基盤を強化。
- NAVIMRO(韓国)
 - 顧客ベース拡大施策を優先させ収益基盤の強化を図る。
 - 通期黒字達成は来年度へ延期。
- MONOTARO INDONESIA(インドネシア)
 - サプライチェーン最適化に引続き取組む。
 - 在庫拡大、Webサイトの情報充実等に取組み、顧客ベース拡大、注文単価拡大を図る。
- ZORO SHANGHAI(中国)
 - リスティング広告、検索エンジン最適化、見込顧客へのコンタクト等の改善に取組み、顧客獲得拡大を図る。

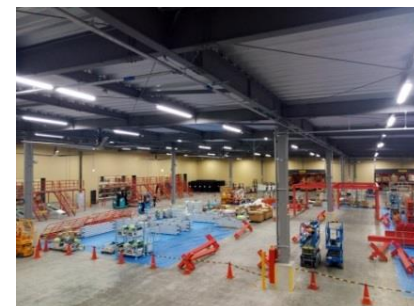
2018年度 事業戦略 Q3進捗 2/2

■ データサイエンスに基づくマーケティングカ・システム開発強化

- データサイエンティスト・ITエンジニアの採用を継続中(2~3年で30名程度採用予定)。
- 採用活動は進捗中。

■ 物流

- 物流関連コスト2018Q3累計売上比実績:6.0%
 - 笠間DC(自社設備)本格稼働に伴う設備賃借料率減、前年の同DC稼働開始費用の今期減を主因に前年同期から0.4ポイント改善。
 - 尼崎DC稼働増(天候/猛暑要因や大型商品注文増等に伴う生産性低下)に伴う人件費率・業務委託費率増(稼働時間延長・派遣社員増等)により計画から0.2ポイント上昇。
- 在庫:38.8万点(計画の40.0万点は到達見込み)
- 笠間DC設備拡張工事
 - 約30億円を投資して設備拡張(自律搬送型ロボット台数増を含む)。
 - 拡張した設備は2019年3月稼働予定。



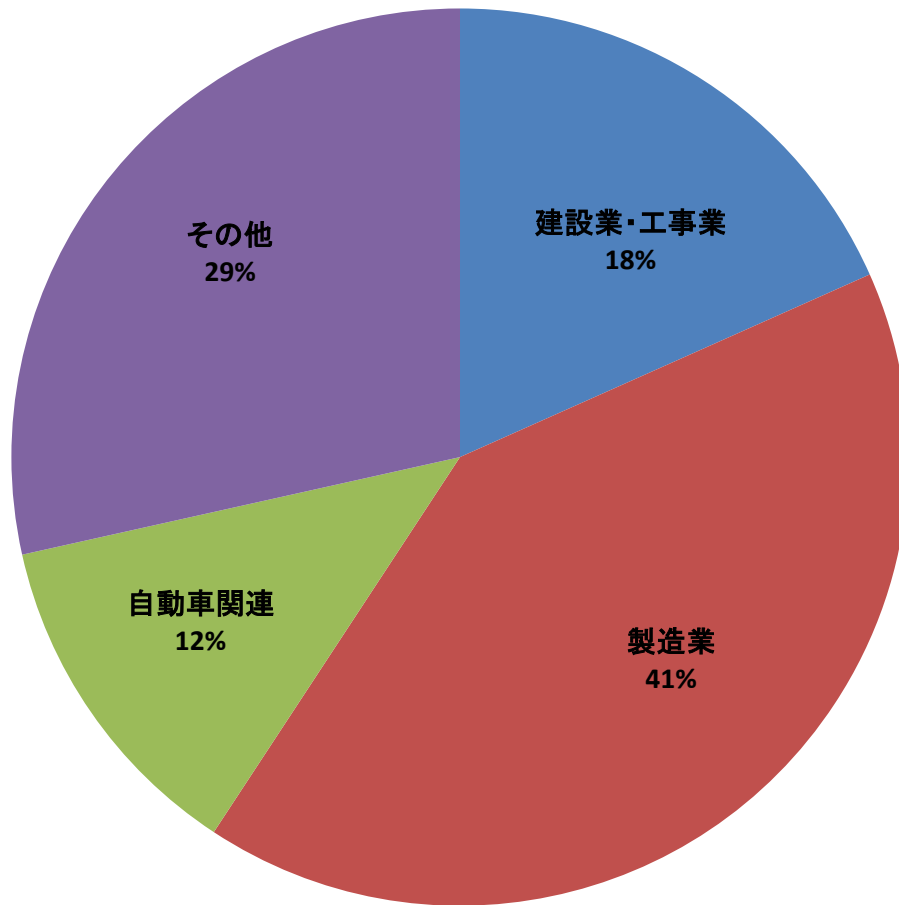
笠間DC設備拡張工事の状況

	2017年Q3累計実績		2018年Q3累計計画		2018年Q3累計実績			
	金額(百万円)	売上比	金額(百万円)	売上比	金額(百万円)	売上比	前年同期比	計画比
売上高(単体)	61,388		75,338		75,987		+23.8%	+0.9%
減価償却費	399	0.7%	532	0.7%	514	0.7%	+28.6%	△3.6%
人件費・業務委託費	2,091	3.4%	2,299	3.1%	2,490	3.3%	+19.1%	+8.3%
設備賃借料	832	1.4%	881	1.2%	857	1.1%	+3.0%	△2.8%
その他	582	0.9%	681	0.9%	670	0.9%	+15.1%	△1.6%
合計	3,906	6.4%	4,395	5.8%	4,532	6.0%	+16.0%	+3.1%

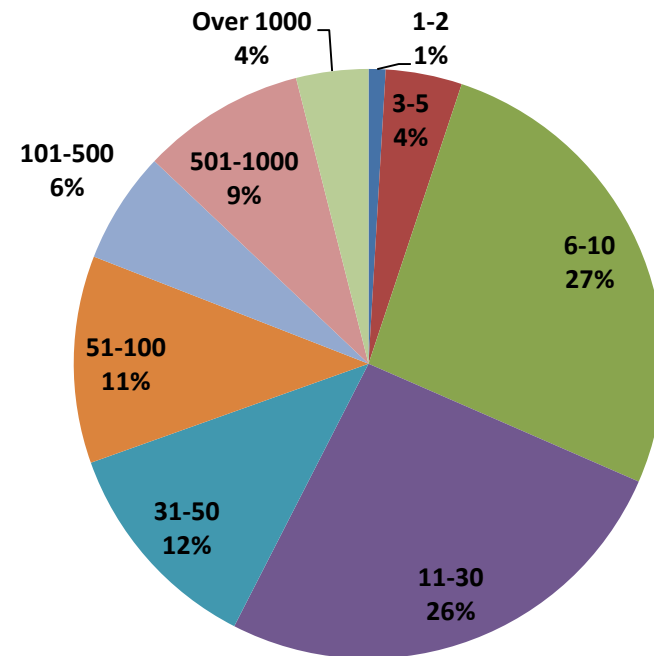
参考資料

顧客属性

顧客の業種



【参考】顧客の規模(従業員数)

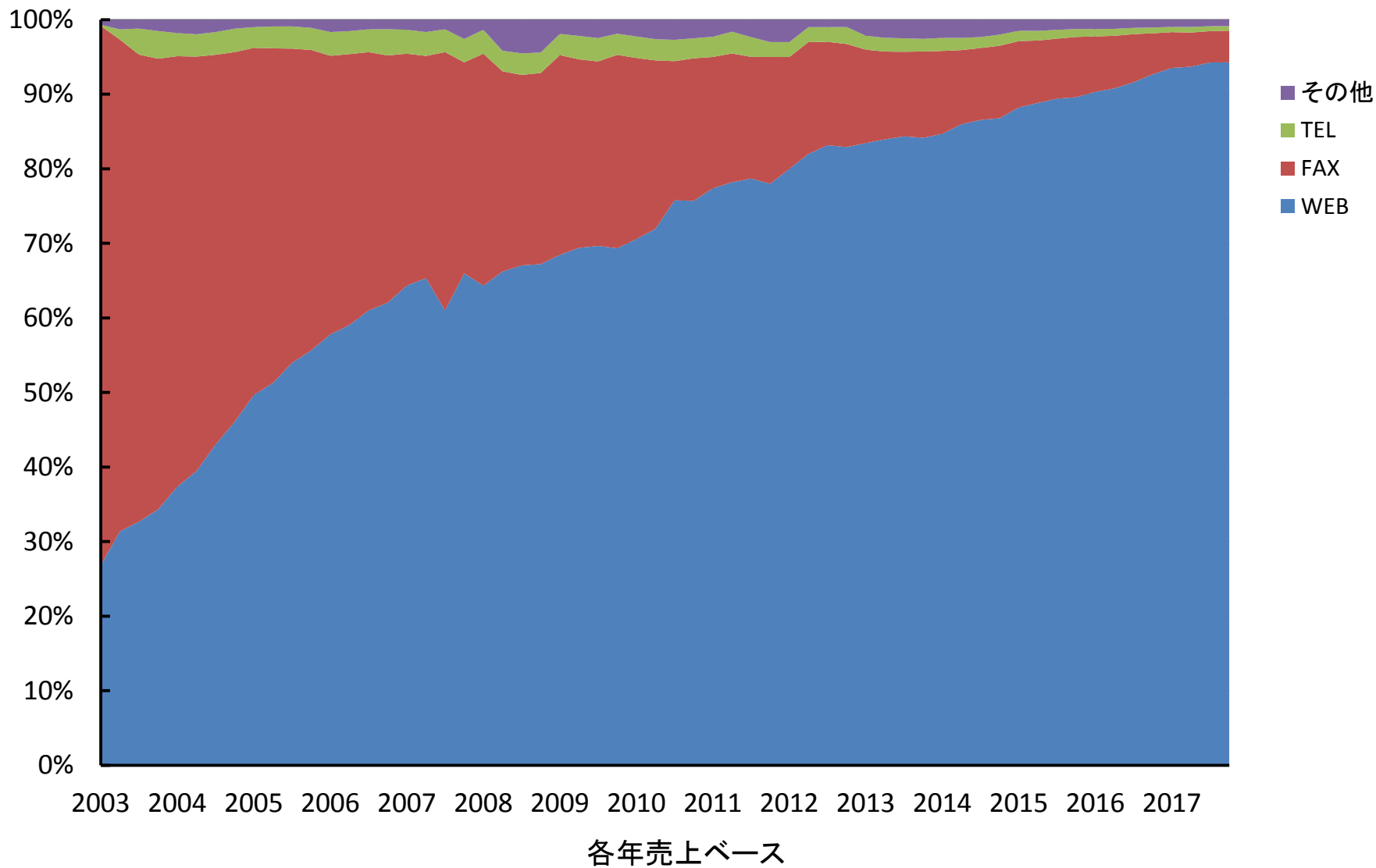


※注: 従業員数は登録時の任意申告であるため、上記グラフは一部情報に基づくもの。

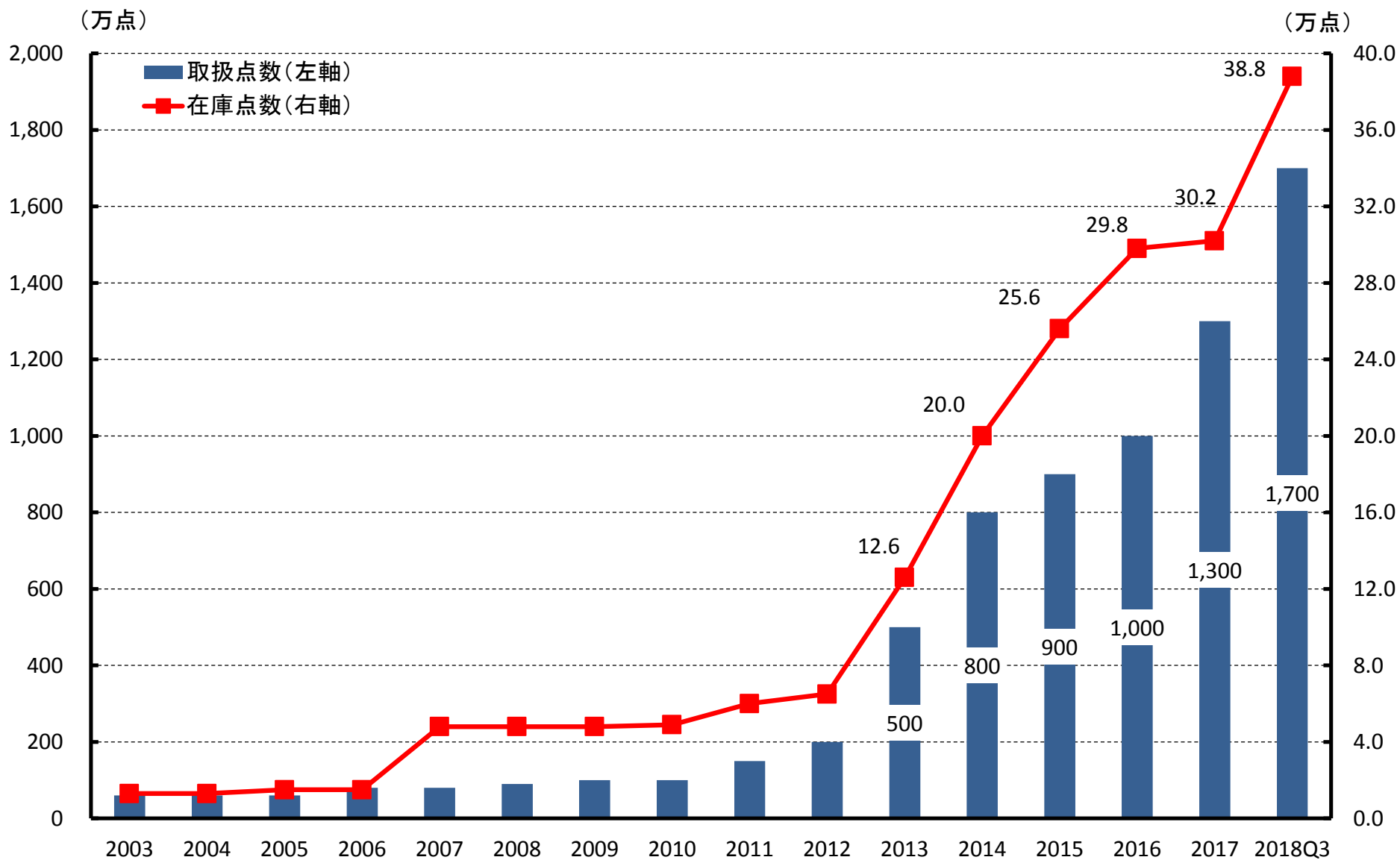
2017年売上ベース

monotaro.com受注のみ(購買管理システム事業/大企業連携を除く)

受注方法比率



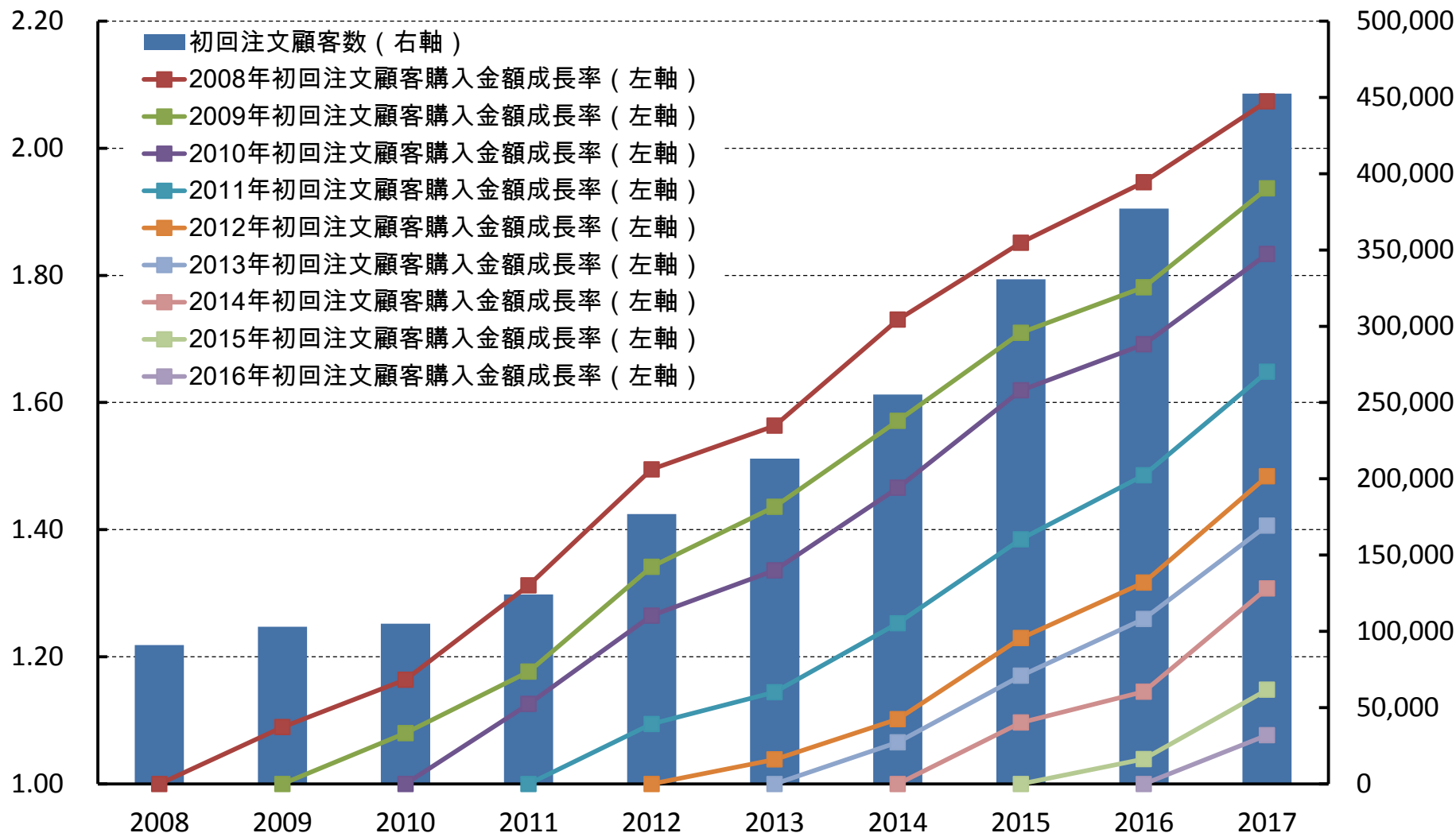
取扱・在庫点数



初回注文顧客数・購入金額成長率

(購入金額成長率)

(初回注文顧客数)



棒グラフは該当年度に初めて注文した顧客数(初回注文顧客数・右軸)

折線グラフは該当年度初回注文顧客の購入金額成長率。初回注文年度の売上を1とした倍率(購入金額成長率・左軸)

本資料には、将来の業績に関する記述が含まれています。こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。将来の業績は、経営環境の変化などにより、計画数値と異なる可能性があることにご留意ください。又、本資料は情報の提供のみを目的としており、取引の勧誘を目的としていません。

お問合せ先

IR・広報グループ

Tel:06-4869-7190

Fax:06-4869-7178

Mail: pr@monotaro.com

IR情報:<https://www.monotaro.com/main/ir/>